

Japanese Language Championship for Young Learners UK (JaLaChamp) 2026

募集要項 (中高生)

1. 趣旨

このコンテストでは、英国で日本語を学ぶ中高生の皆さんが、日本語で自分の思いや考えを伝えるスピーチやビデオ作品を募集します。

今回から、ビデオ部門では、すべての応募作品が The Japan Foundation, London のウェブサイトで紹介され、皆さんの思いや表現を多くの人に届けることができます。

スピーチ部門またはビデオ部門でファイナリストに選ばれた方は、対面の決勝大会に出場でき、スピーチをしたり、あるいはビデオ作品が上映されます。また、会場で他の日本語学習者と知り合う貴重な機会を得ることができます。作品づくりを通して日本語の力を伸ばし、日本への関心や理解がますます深まることを期待しています。

ぜひ、日本語で自分の思いを表現する楽しさを感じながら、このコンテストに挑戦してみてください。あなたの作品を楽しみにしています！

2. 部門および応募資格(中高生)

- ・ 応募資格: 英国内で日本語を勉強している中高生
- ・ 募集要項の内容は小学生と中高生で異なります。これは中高生用です。小学生の募集要項は[こちらから](#)

【カテゴリーの概要と応募資格】 詳細は、各カテゴリーごとのガイドライン参照

カテゴリー	スピーチカテゴリー →	ビデオカテゴリー →
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で選んだテーマでスピーチ (4分～5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマに沿ったビデオを作成 ・ 中高生部門 1、中高生部門 2 のどちらか ※ 日本語レベルにより応募する部門を選択。 ※ 部門によりビデオの長さが異なる。
応募人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人でもグループでも応募可
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語として日本語を学ぶ中高生* ・ 6歳の誕生日以降に6か月以上の日本滞在経験のある人や家庭内で日本語を日常的に使う人は応募不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英国在住で日本語を勉強している人 ・ 日本に滞在した経験のある人、家庭内で日本語を日常的に使う人も応募可
日本語のレベル*	<ul style="list-style-type: none"> ・ B1 程度** ・ すでに GCSE を受験したレベル、または同等の日本語レベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生部門 1: A1-A2 程度** ・ 中高生部門 2: B1 程度**

* 過去の JaLaChamp 決勝大会のスピーチ部門の優勝者はスピーチ部門に応募できない。

** 日本語のレベルについては各カテゴリーの詳細 (P2 及び P4) を参照

3. 応募締め切り

下記の期限に間に合うように、先生に書類やファイルを提出する。

スピーチカテゴリー : 2026 年 3 月 3 日 (火) 15:00 GMT

ビデオカテゴリー : 2026 年 3 月 10 日 (火) 15:00 GMT

4. 決勝大会

日程: 2026 年 6 月 20 日 (土)

会場: ロンドン (Japan House London, 101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA)

※ ファイナリストに選出された人は、決勝大会へ出席

※ グループ応募の場合は、1 名以上の参加

5. 応募方法

- ・ 日本語の先生を通して応募すること
- ・ カテゴリーごとのガイドラインと応募方法を確認すること

→ **スピーチカテゴリー**  → **ビデオカテゴリー** 

スピーチカテゴリー

[Top](#)
[Video Category](#)

スピーチカテゴリーは、外国語として日本語を学ぶ中高生が自分の考えや伝えたいこと、主張したいことをスピーチとして発表する部門です。

1. 応募資格

以下の条件をすべて満たしていること

- ・ 英国内で日本語を外国語として学んでいる中学生・高校生
(塾やプライベートレッスンなど、学校以外の場所で勉強している人も応募可)
- ・ 日本語のレベルが **JF スタンダード** および **CEFR の B1 程度以上*** (目安: Post-GCSE)
- ・ **6 歳の誕生日以降に日本に 6 か月以上滞在したことがない**
- ・ **家庭内に日本語母語話者がおらず、家庭内で日常的に日本語を使っていない**
- ・ 過去の JaLaChamp スピーチカテゴリーで優勝したことがない

*日本語のレベルの参考

B1 レベル: 身近なテーマについて、自分の調べたことや発見したこと、考えたことなどについて、事前に準備していれば順序だてて説明することができる。

もっと詳しく知りたい人は、[こちら](#)から。

2. スピーチのテーマ&長さ

テーマ: 自由

- ・ スピーチには必ずタイトルをつける
- ・ 伝えたいポイントを明確にし、なぜそれを伝えたいのか自分の意見を表明する

長さ: 4 分~5 分

注意: ・ スピーチの原稿は発表者自身が自分で書いたオリジナルであること

- ・ 先生やほかの人に代わりに書いてもらうことはできない
- ・ ガイドラインを満たしていないスピーチは失格となる

3. 審査基準

審査の観点は次の通り。審査内容は公開されない。

観点		基準
1	テーマの独創性	オリジナリティがあるか、自分の考えや視点が表明されているか、タイトルと内容が合致しているか
2	スピーチの構成	説得力のある、あるいは聞き手の共感を得る構成になっているか
3	日本語	発音と流暢さ(明確で聞きやすいか)
		文法と語彙(正確さ、適切さ、範囲など)
4	プレゼンテーションスキル	聴衆を意識した話し方になっているか(声の大きさ、間の取り方、アイコンタクト、ジェスチャーなど)
5	Q&A	スピーチ後の質問に十分に答えられるか(スピーチの原稿と同レベルのやり取りができていないか)

4. 応募方法

(1) 応募する生徒のみなさんへ

次の2つのファイルを準備して、日本語の先生*に渡す。

① スピーチを録音した音声ファイル

フォーマット: MP3

ファイルの名前: '名 姓_audio' E.g. 'Michael Smith_audio' if your name is Michael Smith.

声が大きくはっきりと聞こえることを確認する。音声小さすぎる場合は評価の対象にできない。

② スピーチのスク립ト

フォーマット: Microsoft Word、PDF、あるいは手書きをスキャンしたもの

ファイルの名前: '名 姓_script' E.g. 'Michael Smith_script' if your name is Michael Smith.

言語: 日本語

* 塾やプライベートで日本語を勉強している人は、その日本語の先生を通して応募すること。同時に自分が平日に通っている学校の先生にも応募を伝えること。

(2) 日本語の先生へ

- ・ オンラインフォームより応募 <<https://forms.office.com/r/ZL06wpTGbt>>
- ・ 応募する生徒のファイルは、OneDrive や Google Drive 等にアップロードして、共有用のリンクを取得し、リンクをオンラインフォームに入れる。
 - ※ 学校のアカウントを使う場合は、外部のアドレスとファイルを共有できる設定になっているか、ファイルをダウンロードすることが可能かを確認する。
 - ※ 応募する生徒の保護者にも、本イベントに応募することについての了解を得る。
 - ※ ファイナリストに選出された場合は、後日、決勝大会への出場とビデオ撮影に関する同意書に保護者の署名をもらい、提出する必要がある。

5. 応募締め切り

スピーチカテゴリー: 2026 年 3 月 3 日 (火) 15:00 GMT

6. 決勝大会

3月中旬～4月中旬に予選結果を通知予定

出場者: ファイナリストに選出された応募者

日程: 2026 年 6 月 20 日 (土)

会場: ロンドン (Japan House London, 101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA)

7. 問い合わせ先

The Japan Foundation, London

E-mail: speechcontest@jpf.go.jp

Tel: 020 7492 6570

ビデオカテゴリー（中高生の部）

[➡ Top](#)
[➡ Speech Category](#)

ビデオカテゴリーは、テーマに沿ったビデオ作品を個人またはグループで作成する部門です。テーマに沿って想像力を膨らませ、自由な発想・スタイルでビデオを作ってください。今回から、ビデオ部門では、すべての応募作品が The Japan Foundation, London のウェブサイトで紹介され、皆さんの思いや表現を多くの人に届けることができます。

1. 応募資格

- ・ 英国で日本語を勉強している中高生
- ・ 学校外で日本語を勉強している人や、日本に滞在した経験のある人、家庭内で日本語を日常的に使っている人も応募可能
- ・ 個人、または6人以内のグループ（メンバー全員が中高生）
- ・ 過去の JaLaChamp ビデオカテゴリーの決勝大会に参加した人も応募できる

2. 部門

部門	中高生の部-1	中高生の部-2
日本語のレベル*	JF 日本語教育スタンダード／CEFR の A1～A2 レベル程度	JF 日本語教育スタンダード／CEFR の B1 レベル程度
テーマ**	My/Our Favourite Sandwiches <small>わたし</small> 私（たち）のおすすめのサンドイッチ ※ 幅広い解釈が可能。詳細は「4.作成ガイドライン」を参照のこと	
ビデオの長さ	1 分半～2 分半	2 分半～3 分半

* 日本語のレベルの参考

A1 レベル: 自分の好きなことやものについての簡単な紹介を、写真などを見せながらすることができる。

A2 レベル: 自分の好きなことやものについて、それは何か、どんなもの／ことなのか、なぜ好きなのかなどを簡単な日本語で説明することができる。

B1 レベル: 身近なテーマについて、自分の調べたことや発見したこと、考えたことなどについて、事前に準備していれば順序だてて説明することができる。

もっと詳しく知りたい人は、[こちら](#)から。

** テーマについては「4.ビデオ作成ガイドライン（4.1 テーマについて）」を参照すること

3. 審査基準

審査の観点は次の通り。審査内容は公開されない。日本語の観点は、それぞれのカテゴリーのレベルに達していれば、その観点の最高点が得られる。「4.ビデオ作成ガイドライン」も参考にすること。

観点	基準
構成	中心となる部分があり、その他の部分は中心の部分と関連があり、かつ中心部分を効果的にサポートしている。
内容の独創性	テーマについてよく理解し、オリジナリティが感じられ、自分らしい個性が表現されている。 中高生の部-1 紹介したいサンドイッチの材料や作り方や工夫した点のわかりやすい説明がある。 中高生の部-2 上記のような自分が考えたサンドイッチの紹介や説明だけではなく、サンドイッチについて調べたことなどさらに詳しい説明も含んでいる。
日本語	中高生の部-1 流暢でなくてもよいが、発音や語彙、文法に間違いはあっても、伝えたいことはよくわかる。 中高生の部-2 調べたことと自分で考えて提案することがはっきり区別され、わかりやすく伝えられている。そのために十分語彙や表現が使えている。

映像表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話している部分の声のボリュームが十分で聞き取りやすい ・ 英語字幕がある ・ コピーライトをクリアしている ・ 字幕以外の文字入れのフォント、色、配置が見やすい ・ 場面転換、特殊効果などの編集に工夫がある ・ ナレーションや BGM などの音量が適当で聞きやすい
-------	---

4. ビデオ作成ガイドライン

ビデオの作成にあたっては、以下のガイドラインをよく読むこと。ガイドラインに沿わない作品は失格となる。

4.1 テーマについて

2025 年、イギリスではイチゴのサンドイッチが発売されて話題になりました。イギリスに今までになかったサンドイッチでした。あなたが好きなサンドイッチ、新しく作っただけのサンドイッチはどんなものですか。どうしてそれがいいと思いますか。比較のためにあなたが好きなサンドイッチを紹介してもいいです。サンドイッチ以外のもの、例えばハンバーガー、ラップ、おにぎり、手巻き寿司など、あなたが紹介したい食べ物があればそれでもいいです。

4.2 ビデオ作成のための内容のヒント

次のような内容を含んでいると、評価が高くなります。全てを含んでいる必要はありません。また 3. 審査基準の内容にあてはまっていれば、これ以外の内容が入っていても評価されます。

【中高生の部 1】

- ・ あなたの学校の学食で作ってほしい新しいサンドイッチは、どんなサンドイッチですか。
- ・ どうしてそれがいいと思いますか。
- ・ 今までのサンドイッチに比べて、工夫したのはどんなことですか。
- ・ 比較のために、好きなサンドイッチを紹介してもいいです。どうしてよくないと思いますか。

【中高生の部 2】

- ・ スーパーやベーカリーで販売したら人気商品になると思うサンドイッチを考えて紹介してください。
- ・ そのサンドイッチのもっともおすすめの点は何ですか。
- ・ そのほかに、以下のような内容を調べて紹介してください。
(例) サンドイッチの歴史・人気ランキング・健康によい材料・サンドイッチの昔と今の違いなど

4.3 形式・スタイル

- ・ テーマにあった制限時間内のビデオ作品であること
- ・ 発表形式、ドラマ形式、写真やイラスト、アニメーションを使った編集など、自由なスタイルで作成可
- ・ ビデオ作品には**英語タイトル**をつけ、ビデオの中のどこかで必ずそのタイトルを表示すること
 - ※ タイトルは、テーマと同じ名前をつけるのではなく、ビデオの内容が分かるような、あなたのオリジナルのタイトルを付けること
 - ※ 日本語のタイトルをつける場合、必ず英語タイトルをつけた上で、日本語のタイトルもビデオの中に入れる
- ・ ビデオの最後には必ず**クレジット**(学校名、ビデオ制作にかかわった人の名前など)を入れる
 - ※ クレジットまで含めて、制限時間内に収めるように編集する
 - ※ クレジットについては「4.6 クレジットについて」も必ず確認すること
- ・ ビデオは MP4 形式で提出
- ・ 音声や音楽の音量に注意すること。はっきり聞き取れる音量が必要

4.4 言語

- ・ ビデオには、必ず日本語で話している声を入れること
- ・ 必ず**英語の字幕**を入れること

4.5 ビデオ作成メンバー

- ・ ビデオは個人でもグループでも作成可
- ・ 1人で複数作品の応募は不可
※ 1人で複数のグループのビデオ制作に参加したり、個人とグループの両方でビデオ制作に参加したりはできない。
- ・ 「1」の出場資格にある教育段階の生徒であれば、誰でも応募できる。日本で生まれた人や日本に滞在経験のある人も応募可。
- ・ 中高生部門は、先生の力を借りずに、自分たちでビデオを制作すること。
- ・ 日本語の先生を通して応募すること。学校以外で日本語を勉強している場合は、学校の先生にも応募を伝えること。

(1) 個人応募の場合：

一人でビデオを作ること。応募者が話したり、何かをしている様子を撮影するときだけ、家族や友人などに撮影してもらうことができる。

(2) グループ応募の場合：

- ・ グループの人数：6人まで
- ・ グループは必ず同じ学校のメンバーで構成すること。学校以外の場所（補習授業校や塾など）で日本語を勉強している人は、一緒に日本語を勉強している人とグループを作ってもよい。
- ・ 違う学年の人とグループを作ってもよい。（ただし、大学生を入れることはできない。中高生と小学生が一緒にグループを作ることもできない。）
- ・ 日本語を勉強していない人がグループにいてもよい。つまり、日本語を話さない人がいてもよい。その人は撮影や編集などに参加できるので、それぞれが得意なスキルを持ち寄って協力してビデオ作成することができる。
- ・ グループで作成する場合はグループ名をつけること
- ・ ビデオにはクレジットを必ず入れること（クレジットについては「4.6 クレジットについて」を参照）

4.6 クレジットについて

- ・ クレジットには次の情報を英語で必ず入れること
- a) 学校名
 - ・ プライベートで日本語を勉強している人は、平日、毎日通っている学校の名前を入れる。
 - ・ 塾などで日本語を勉強している人は、塾の名前と平日、毎日通っている学校の両方の名前を入れる。
- b) グループ名（グループ応募の場合、英語と日本語のどちらかもしくは両方）
- c) ビデオ制作にかかわった人の名前（応募者）と役割
 - ・ ニックネームでもよい。
- d) BGMや写真等の引用情報（ある場合）
- ・ 4.3に記載の通り、ビデオ作品のタイトルもビデオのどこかに入れる。
- ・ ビデオの中に入っているタイトルとクレジットに記載されているビデオ制作にかかわった人の名前（もしくはニックネーム）と学校名は、決勝大会のプログラムや報告書等に掲載される。また、後日、ビデオ作品を国際交流基金ロンドン事務所のYouTubeチャンネルで紹介予定。クレジットに入れる名前について、事前に保護者の同意を得ること。

4.7 著作権・肖像権

- ・ 自分たち以外の人制作した音楽や写真、イラストなどの著作権に注意。ビデオにBGMを入れる場合は、Royalty Free もしくは Creative Commons license for attribution (BY) and non-commercial use (NC) のものを使うこと。
※アニメや漫画、テレビや映画などの素材は使わないこと。
- ・ 人物の写真や映像には、肖像権があることに注意。ビデオの撮影をするときに、グループメンバー以外の人の顔が映らないように気を付けること。あるいは許可を取ること。

- ・ 企業や団体、ブランドのロゴを許可なしに使うことはできない。店などで撮影するときには、店の人の許可を得ること。
- ・ 著作権や肖像権の問題が生じたときには、Japan Foundation は責任を負わない。
- ・ 著作権や肖像権について分からないときは、Citizenship studies や Design and technology の先生などにも相談すること。

5. 応募方法

(1) 応募する生徒のみなさんへ

制作したビデオを日本語の先生に渡す。

(2) 日本語の先生へ

- ・ オンラインフォームより応募 <<https://forms.office.com/r/c0Ed10Pv4u>>
- ・ 応募する生徒のファイルは、OneDrive や Google Drive 等にアップロードして、その共有用のリンクを取得し、オンラインフォームに入れる。
※ 学校のアカウントを使う場合は、外部のアドレスとファイルを共有できる設定になっているか、ファイルをダウンロードすることが可能かを確認する。
- ・ 応募する生徒の保護者から決勝大会への出場とビデオ使用に関する同意書の署名を得た上、生徒のファイルと一緒に参加者全員分の同意書を提出。同意書がない場合、応募を受け付けることができない。
ビデオ部門用の保護者の同意書は、URL よりダウンロード：<https://www.jpf.org.uk/whatson.php#1439>
※ 1 校から応募できるビデオの数に制限はない。

6. 応募締切

ビデオカテゴリー：2026 年 3 月 10 日 (火) 15:00GMT

7. 決勝大会

- ・ 3 月中旬～4 月中旬に、選考結果を通知予定
- ・ 選出された人は、決勝大会へ出席
- ・ グループの場合は、代表者が出席
- ・ 決勝大会ではビデオ部門は、順位をつけない形式で上映と表彰を行う。

日程 : 2026 年 6 月 20 日 (土)

会場 : ロンドン (Japan House London, 101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA)

※ 決勝大会に選ばれなかった作品を含む全作品を国際交流基金ロンドン事務所の YouTube で紹介予定

8. 問い合わせ先

The Japan Foundation, London

E-mail: speechcontest@jpf.go.jp

Tel: 020 7492 6570

 [Top](#)

 [Speech Category](#)

 [Video Category](#)